



1年間がんばったみなさんへ

1年間に、挑戦したこと・学んだことはいくつありましたか？1年生は、学校生活になれるということから始まりました。2年生は、算数の九九や国語の漢字など難しいことにも挑戦しました。3年生は、大豆博士になりました。自分のことだけでなく、学級全体のことも考えるようになりました。4年生は委員会活動やクラブで上級生に負けない活動ができました。5年生は水俣や環境など学習のフィールドがグンと広くなりました。6年生は、豊水小学校のリーダーとしてみんなのために何をしたらいいか考えられるようになりました。みなさん、自分をいっぱいほめてあげましょう。

1年間がんばった自分にはなまるあげよう！

はこの1年間をがんばりました。



わたしは誰でしょう？

01



からだに2つ。だから、アレがどこから来ているかわかるんだよ。

02



役割は、みんなもよく知っているアレ。からだのバランスにも、深く関係しているよ。

わたしは…



03



わたしの中には、からだで一番小さな骨や、かたつむりがいる!?

04



ことわざや慣用句では、「タコ」ができたり、「壁」にありたりすることもあるよ。

耳から入った音は鼓膜をとお通り、からだの中で一番小さなあぶみ骨(耳小骨)や、かたつむりに似た蝸牛など、迷路みたいな道を通って、脳に「聞こえた」と伝えていくよ。



役割は、音を聞くこと。2つあるおかげで、音がどの方向から聞こえているかわかるんだよ。そして、耳の奥にある「からだの傾きを感じる」場所で、バランスをとっているんだよ。



●耳にタコができる
同じことを何度も聞かされてうんざりする
●壁に耳あり障子に目あり
どこで誰が見たり聞いたりしているかわからない
——という意味。
知っていたかな？

